



四日市の 子育て支援



従来、妊娠から出産、乳幼児の健診などは健康部、保育園や児童手当、虐待防止に関することなどは福祉部、学童保育や補導などは教育委員会と、担当部局も市役所内の場所もまったく異なっていました。

そこで、縦割りの弊害をなくし、妊娠から出産、乳幼児、青少年に至るまで、途切れのない総合的な施策展開による子育て支援の充実を図るため、子どもに関する業務を集約、再編し、4月から「こども未来部」をつくりました。

今月は、四日市市の子育て支援を紹介します。

子ども未来部

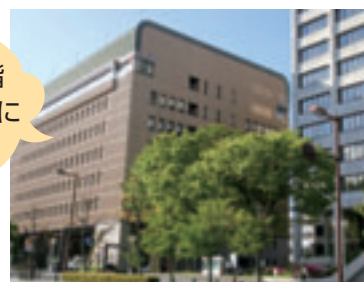
をつくりました!



核家族化の進行や、ひとり親家庭の増加など、子どもを取り巻く社会の変化によって、子育てに不安や悩みを持つ親が年々増加しています。安心して産み育てることができる環境を整えるため、四日市市で育つすべての子どもに対して、いろいろな角度から子育て支援を進めます。

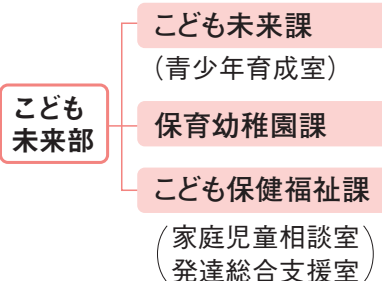
子どもに関する相談は すべて **こども未来部**へ

総合会館3階
(市役所西隣)に
あります!



子育てに不安や疑問がある人たちの、「どこに相談したらいいのかわからない」「市役所のどこに行ったらいいのかわからない」といった不安や疑問を解消するため、子育てに関する相談窓口を、総合会館3階の「こども未来部」に集約しました。

■総合会館3階のこども未来部の体制



例えば、母子健康手帳の交付、乳幼児健診、予防接種、児童手当や子ども医療費の助成などは、こども保健福祉課で、保育園や幼稚園の入園や保育料の相談は保育幼稚園課で、また、子育て支援センターや学童保育所などの案内は、こども未来課で、それぞれ行っています。

児童虐待の通告・相談は 家庭児童相談室へ

こども保健福祉課内にある家庭児童相談室では、「イライラして手をあげてしまいそう」「わたしのしんどさを受け止めて」など、子育て中の人の悩み相談や、ひとり親家庭の生活相談などを受けています。

また、家庭児童相談室は、児童虐待の通告・相談の窓口でもあります。地域で怒鳴り声が聞こえるなど、「もしかして虐待?!」という疑いを抱いたら、家庭児童相談室(☎354-8276)に連絡してください。



発達に関する相談は 発達総合支援室へ

四日市市では、発達に障害のある子どもの支援をするために、発達総合支援室で早期の対応、支援を行っています。発達障害は、症状がさまざまなため、正しく理解されないことも多く、家族は子育てをしていく上で孤立していく恐れがあります。

「子どもの発達が心配」など気になることがあるときや、どのように対処したらいいかわからないときなどは、発達総合支援室(☎354-8064)に連絡してください。発達総合支援室では、保健師・保育士・教員・心理判定員が、18歳までの子どもの発達について、相談窓口を一元化して、早期からの途切れのない支援を行っています。

また、こども未来部には、発達上の問題や障害のある子どもに療育・保育を行ったり、その家族に対する育児や養育についての支援を行ったりする「あけぼの学園(西日野町4070-1)」もあります。

出産前に

パパママ教室 (月1回)

助産師等が妊娠中の健康管理などについてお話しします。参加者は、赤ちゃんの人形を用いた沐浴体験や、妊婦ジャケットを着用する妊娠模擬体験などができます。



誕生直後を応援

こんにちは赤ちゃん訪問

生後1～3カ月の赤ちゃんがいる市内の全家庭にお伺いし、四日市市の子育てに関する情報をお届けしたり、子育てについての疑問にお答えしたりしています。



「産後の不安がありますか」などと促してくれたので、その後も質問がしやすかったです。

健やかな発育に

育児相談 (月1～2回)

身長・体重測定と、希望する人には、助産師による母乳相談、歯科衛生士による歯の相談、栄養士による栄養相談、保健師による発育相談などを行っています。



悩んでいたことについてきめ細かいアドバイスがもらえました。大丈夫って言ってもらえて、安心できました。

パパも

みんな

虫歯予防に

歯ハハの教室 (月3回)

2歳以上4歳未満の幼児と保護者を対象とした教室です。むし歯についての話を聞いた後、お子さん全員に歯科健診を、そして希望者にはフッ素の塗布や歯磨き指導を行っています。



成長に合わせて

幼児健診

(1歳6カ月児・3歳児)

1歳6カ月と3歳6カ月を迎えてから受けてもらう集団健康診査です。問診、身体計測、発育相談などを行っています。

離乳食の情報を

乳幼児食教室

月齢によって、5～8カ月児と9～12カ月児の2つに教室を分け、発育に応じた離乳食についての話、調理実演を行い、保護者は試食もできます。



〈このページに関するお問い合わせ〉 こども保健福祉課 ☎354-8187

パパを応援

子育てマイスター養成講座

平成22年度から、子育て世代の男性を対象とした子育てに関する講座を実施しています。パパの子育てへの参加を促し、育児を楽しむ「笑っている父親」を増やすため、今年も9月から講座を始めます。詳しくは広報よっかいち7月下旬号をご覧ください。



入園前の幼児に

あそび会 あそぼう会

保育園や幼稚園にまだ入園していないお子さんと保護者に遊び場を提供しています。保育園、幼稚園などで行われています。園によって開催する曜日や時間が異なりますので詳しくは市ホームページをご覧ください。

詳しい情報はこちらから



親子で楽しめる

児童館 (市内4カ所)

18歳までのお子さんと保護者が利用できます。楽しく遊べるように、季節の行事、手芸、クッキングなどが企画されています。



こんな相談も
やっています

よかパパ相談

(月1回)

市内の子育て支援センターでは、「親の子育てマイスター」認定者による「よかパパ相談」を実施しています。詳しくは、橋北子育て支援センター(☎332-4527)へ。

乳幼児を持つ家族に

子育て支援センター (市内16カ所)

主に乳幼児(0~3歳児)とその保護者が気軽に利用し、交流や育児相談ができる場、子育て情報の提供の場として、支援活動をしています。



子育て支援センター 利用者の声

子どもと向き合える時間です

田中由美さん

ここに来るといろいろな遊びを教えてくれるし、家のおもちゃだけだとマンネリ化してしまうので、外の遊具も充実している塩浜子育て支援センターはとてもいいです。

また、家にいると家事をしてしまいますが、ここに来たら、子どもと向き合う時間を持つことができ、他のお母さんたちと話せたり、情報交換もできます。これからももっと来たいと思います。



〈このページに関するお問い合わせ〉 こども未来課 ☎354-8069

子育て応援@四日市

幼児期から児童期の子どもの育ちを支えるとともに、子育てと仕事の両立や共働き世帯の子育てを応援し、地域の子ども・子育てのためにみんなで協力します。

0歳児から就学前の乳幼児をお預かり

保育園

保護者が仕事や病気などの理由により、家庭での保育ができない場合に入園することができます。園によって対象年齢は異なりますが、0歳児から就学前までの子どもが通園しています。また、早朝や夕方までお預かりする長時間の保育や日曜日・祝日にお預かりする休日保育、そして、仕事や病気の時などに利用できる一時保育などがあります。

満3歳から5歳児の幼児をお預かり

幼稚園

公立幼稚園では、4歳児と5歳児、私立幼稚園では、園によって異なりますが、満3歳から5歳児までの子どもが入園できます。幼稚園では、小さいお子さんと保護者を対象として、あそび会を実施しており、私立幼稚園のなかには、早朝や夕方の長時間保育、長期休暇中の保育を行っている園もあります。

子育て応援をしてほしい人と預かる人を結び付け

ファミリー・サポート・センター

子育てを応援してほしい人(依頼会員)と、子育てを応援したい人(援助会員)で構成される会員組織です。四日市市は、三重県で最初に立ち上げました。保育園や学校の開始前や終了後に子どもを預かったり、休みの時に預かったりします。サポート活動は、原則として援助会員の家で行われます。利用料金は1時間当たり700円からで、交通費などは実費になります。

〈問い合わせ先〉体験ひろば☆こどもスペース四日市 ☎323-0023

火～土曜日 8:30～19:30(日・月曜日・祝祭日・年末年始休み)

放課後の児童をお預かり

学童保育所

仕事などの理由で放課後、土曜日や夏休みなどに保護者が留守となる家庭の児童が通っています。四日市市では地域の運営委員会などが運営を行っており、現在、市内に40カ所あります。

授業のある日は、小学校から学童保育所に行って、学童保育所で指導員のもと、宿題をしたり、遊んだりしています。学童保育所では、異年齢の友達ができるとともに、地域行事への参加や、掃除・整頓など自分のことを自分でする習慣付けなど、さまざまな体験ができます。

病気療養の幼児、児童をお預かり

病児保育室「カンガルーム」

病気療養中で、まだ保育園や小学校などの集団生活ができないお子さんを、一時的にお預かりします。「カンガルーム」では、専用の保育室において、保護者に代わって、保育士や看護師など専門スタッフが適切な保育、看護を行いながら、療養中のお子さんを見守ります。



病児保育室
「カンガルーム」
四日市市中部8-17
☎351-4152



ひとまわり大きく
成長しよう!

ジュニアリーダー・サブリーダー養成講習会

ジュニアリーダー(中学・高校生)・サブリーダー(小学5、6年生)とは、子ども会などの子どもたちに対し、遊び相手になったり、野外活動を指導したりする、青少年のボランティアです。ジュニアリーダー・サブリーダーになるには、市が主催するジュニアリーダー・サブリーダー養成講習会を受講する必要があります。キャンプやレクリエーションなどを楽しく体験しながら、地域の子どものお兄さん、お姉さんとして活躍する「ジュニアリーダー」を目指してみませんか?



〈問い合わせ先〉
青少年育成室 ☎354-8247

地域でも
応援

できる人が、できるときに、 できることから…

子どもたちを健やかに育てていくためには、家庭・地域・学校・市が一体となって取り組む必要があります。子どもたちを見守る大人が増えると、子育てや教育に関心が高まるとともに、大人自身が今まで培ってきた経験や知識を子育てに生かすことができます。また、子どもたちを中心として、地域にいろいろな世代のつながりができ、交流も生まれます。



地域住民による登下校の見守り
「日永地区 子ども見守り
ボランティア」



民生委員による
「子育て広場」
(神前地区)



大変な多胎児の育児を
少しでも楽しく!

多胎児サークル
「ひまわりクラブ」

〈連絡先〉葛山絹子
☎090-4869-8755

四日市の未来はここから変わる!

子どもたちが、豊かな人間関係の中で、自分の能力を生き生きと伸ばしていけるよう、大人たちは最善の努力をする必要があります。四日市市で子ども時代を過ごせてよかったと、大人になったときに感じてくれるように、こども未来部は、市民の皆さんとともに、子育て支援をしていきます。



市川こども未来部長

編集後記

取材に訪れた各施設で出会った子どもたち、お母さん、お父さんたちの笑顔はととても素敵でした。私も、仕事を精一杯頑張らつ、子どもたちと過ごす時間をたくさんつくって、子どもたちと一緒に笑っている母親になろうと思いました。
(こども未来課 永田、保育幼稚園課 大西、こども保健福祉課 吉川、広報広聴課 堀田)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

こども未来課	☎354-8038	FAX 354-8061
保育幼稚園課	☎354-8173	FAX 357-5260
こども保健福祉課	☎354-8083	FAX 354-8061
広報広聴課	☎354-8244	FAX 354-3974